

なんかい、102号

2016年5月1日発行

南海寮 広報委員会
熊本県天草市本町下河内1685番地の1
TEL 0969-23-3850
FAX 0969-22-4977
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp
URL http://www.nankairyu.or.jp/

施設入口にきれいに咲いた芝桜



ご家族との協力・ 連携を新たに

この度の熊本地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますと共に被災された方々及びご家族関係者の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。一日でも早い復旧復興をご祈念致しまして、微力ながらも可能な限りの復興支援に職員一同努めて参ります。去る4月24日、余震は減少傾向にあるものの、未だ予断を許さぬ状況ではありましたが、幸い天草の地において大きな被害は見られず、平成28年度家族総会を開催するに至りました。

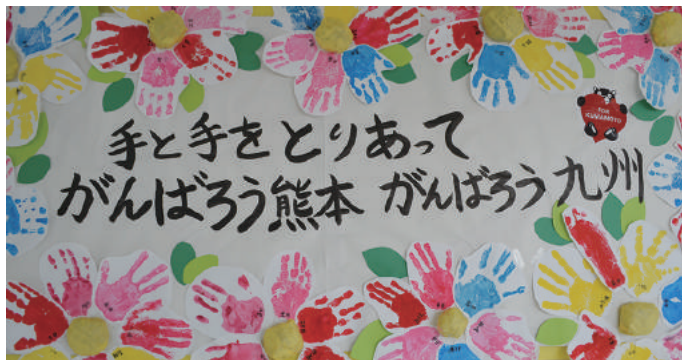
当日朝から利用者さんは少しそわそわ。活動計画を発表する職員はどこことなくドキドキの面持ちでいつもと違う朝の雰囲気の中ご家族の到着を待ちわびました。

玄関先や廊下では開口一番「地震の被害はありませんでしたか」「安心しました」等、口々に互いを気遣うご家族と職員の会話が聞かれ、安堵のうちに利

用者さんとの面会、担当職員から近況報告等がなされ、その後の家族総会における全ての議案について承認が得られました。

先の五十年に一度という大雪被害を経て、この度の大地震と私たちの想定をはるかに超える災害を目の当たりにした時、安心安全への備えは勿論のこと、施設とご家族が互いを思いやり手を取り合い力を合わせる事の大切さと、力強さを感じずにはいられない一日となりました。

中嶋幸三





3月
26日

繭姫通りおんなの夜祭り

皆様に喜んで頂ける作品づくりを

毎年恒例の「繭姫通りおんなの夜祭り」が開催され作品販売を行いました。本格的に春を迎えたとはいえ、当日は風が強くなり気温の冷え込みもありましたが、そんな中でも通所利用者さんや職員が家族ずれで顔を出され、祭りを楽しんでおられました。作品を購入されたお客様からは「いつもこの手芸品を買っています」など嬉しい言葉をかけて頂き、色々なイベントに参加することで少しずつでも地域の皆様に知っていただけているんだと実感しました。これからも多くの方に喜んでもらえる作品作りを利用者さんと共に行っていきたいと思っております。

(松下加津美)



3月
15日

お楽しみ会

地域の方々との交流

今年は本町カラオケ愛好会・フラクラブ・大正琴・むつみ会の4団体の皆様に素晴らしい歌や踊り、演奏をご披露して頂きました。

リズムに合わせて手拍子をしたり、飛び入りで踊り出されるなど利用者の皆さんも一緒に楽しまれていました。会終了後に出演者の皆様と一緒に記念撮影や握手等で交流を深める事ができ、改めて地域の皆様に支えられている事皆様との触れ合いの大切さを実感したお楽しみ会となりました。

ご協力いただきました本町生涯学習サークルの皆様、楽しいひと時をありがとうございました。(京塚香葉)



2月
13日

障がい児(者)口腔ケア地域リーダー育成事業

利用者さんの健康を、 口腔ケアで守りましょう!

熊本県の障がい支援課からの委託事業となる「障がい児(者)口腔ケア地域リーダー育成事業」として、天草市歯科医師会より医師4名、歯科衛生士6名来寮され、入所・通所利用者計80名程の歯科検診が行われました。その後、歯磨き支援に当たっている職員向けに利用者毎に合わせた歯の磨き方や歯間ブラシの使い方、留意点等を指導して頂き、ケアをする際の留意点等詳しく学ぶことができました。検診後の反省会では先生方から、障がいを持っている人は歯石が付きやすく、ケアの仕方がポイントになる事、口が開かない人については、特に日頃の口腔ケアが大事である事等の話があり衛生士の方からは歯ブラシの選び方や介助する際の姿勢等についてアドバイスを頂き、日頃の口腔ケアの方法を見直す良い機会となり、早速各利用者別に注意点をまとめ、その後の支援に取り入れさせて頂きました。

後日、熊本県医師会館にて開催された「障がい児(者)歯科保健推進協議会」では、委託事業を終えての現状報告や歯科医師会、熊大、市民病院、国立病院等の歯科口腔外科の医師、家族会、施設会、行政等交えての意見交換会が

行われました。障害が重くなればなるほど訪問歯科診療のニーズは高く、最近では障害者歯科診療受診者も増加しているとの話があり、口腔ケアの重要性を再認識しました。また、今回のような地域リーダー育成事業での歯科医師、歯科衛生士による口腔ケア指導は、今後も歯科保健を広げていく意味でとても重要なものになっている為、今後もその活動が充実、実現できるように市議会や県障がい支援課等行政にも協力を要請されていました。当事業所も平成20年より訪問歯科診療を導入した事に併せて口腔ケアを本格的に開始し日々利用者さんの健康維持の為支援を続けて8年が経過しますが、それまで歯科治療を受けられなかった重度障がいの方でも診察を受けられるようになり、発熱回数の減少や感染症の蔓延防止にも繋がるなど成果が表れています。今後も皆さんの健康を維持出来るように口腔ケアに励んでいきたいと思っております。(倉田美晴)



節分 (2月)



ひなまつり (3月)



お大師様参り (3月)



お花見 (3月)



平成28年度 第40回 家族会総会（4月）



家族会役員紹介



家族会会長挨拶



永年勤続退職職員記念褒賞



家族会会計監査報告



議長



施設長挨拶



マイナンバーに関する説明



委員会報告



委員会報告



施設の事業計画について説明



研修報告

相手の気持ちに寄り添った支援を

支援員 金子 恵三

今回の研修で他施設から二人の利用者さんの事例発表があり、一人目の方の場合、うがいの際の水飲み込み行為が防止・靴下を破る行為の対処法の検討がありました。うがいの際、コップに水を汲んでのブラッシングやジェルタイプの歯磨き粉を使うなど様式

討を行い、食事の前は「お腹がすいた」の訴えと推測されるが、本人にとって奇声を発すること自体が習慣化しており、声を発する事で、気分的にも落ち着くのではないかなど本人の立場に立った気持ちの分析を行う事の重要性を改めて知る事ができました。今後、相手の立場・気持ちに寄り添った考えでの支援をより大事にしていきたいと思えます。

研修報告

腰痛予防対策講習会 介護の現場で増加する腰痛問題

支援員 田中 雄三

社会福祉施設では年々腰痛発生件数が増えており、腰痛による休業4日以上件数が平成26年では1000件を超えており、10年で約2倍増えているとの事でした。また、この他に隠れ腰痛の方もたくさんいらつしやるとの事で、実際にはまだ多いとの事でした。

今も介助する際、腰が痛む時があります。支援員は腰痛にならないよう、また重症化しないように、日頃から運動、ストレッチなどを行い、介助する際には無理して一人で行わず、他の職員と協力して負担を減らす、スライドボードなどの福祉用具を使用する、ストレスのない明るい職場環境作りなど、職員一人ひとりが気を付け、考え、行動する事が大切だと思いました。

施設内研修テーマ

業務改善についての検討会

定期的な業務改善は、サービスの質向上、業務の効率化等を図る上で重要な事であり、当施設でも年1回検討会という形で実施しています。

や方法論の提案には、ある一部の側面だけに捉われない全体的な状況の把握や総合的な分析、あらゆる事への配慮が必要だと思います。そもそも日々行っている仕事の意味を理解していなければそこに問題意識や改善意識すら生じません。一つひとつの業務の「なぜ」という部分を理解しているからこそ状況が変化した時にその方法を見直し、新たな方法を見出す事ができます。昔から伝統的・慣例的に行っている業務であっても、時代や状況の変化に合わせてパラダイムシフトしていかねればならないでしょう。総じて日常的な職員間の情報共有や意思統一、業務の標準化が求められます。そういった意味ではまだまだ不十分な点もありますが、何より大事なのは今回検討した内容や改善策を机上の空論で終わらせる事なく、各自が主体的に実践し、より良い支援に繋がっていく事であり、そうする事で初めて見えてくる更なる到達点の存在に気が付き、そこに立って見える新たな景色の中に自分達がなすべき事を見出し、いく事ではないでしょうか。



事前にも全職員から日常業務等における問題点や改善策を提起してもらい、それをもとに資料を作成・検討をしますが、この取組みを始めた当初は、感情論による自分本位な否定的な意見や、改善策や代替案の記述がなく問題や欠点の指摘に留まる非建設的な意見、根拠のない荒唐無稽な意見等も多く「忌憚のない意見」と言えば聞こえはいいですが、単に不満や批判を羅列したような資料で前向きな検討が難しかった過去もありました。しかし、今回あがってきた資料や検討会の様子を見て、以前と比較し職員それぞれが問題意識を持ち、自己の業務に対して真摯に向き合い取り組んでいる事を伺い知る事ができました。

業務改善は現状の分析、問題点や課題の明確化だけでなく、その問題に対して「じゃあどうするの?」という解決の部分が一番重要且つ難しいところでもあり、具体的な改善策



がんばったで賞

毎月「なにかひとつ頑張った」ことを表彰している「がんばったで賞」
今回は平成28年2月から平成28年4月に受賞された皆さんです。

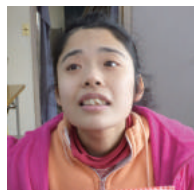
2月 (Feb)



奥村 恵美さん
歌の練習をがんばりました



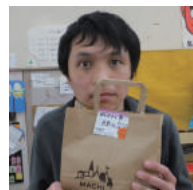
川崎 恵実さん
室内運動をがんばりました



園田 陽子さん
ビーズ通し作業をがんばりました

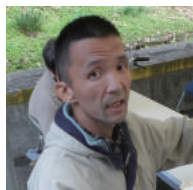


瀧下 瑞江さん
リハビリをがんばりました

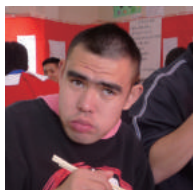


長島 啓治さん
紙漉き作業をがんばりました

3月 (Mar)



北 朋久さん
空き缶集めをがんばりました



桑野 翔さん
紙切り作業をがんばりました



佐藤 愛さん
歩行をがんばりました



如田多恵子さん
歩行をがんばりました



山下 金也さん
歩行をがんばりました

4月 (Apr)



木下 徳丸さん
塗り絵をがんばりました



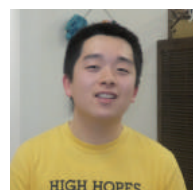
長尾クニエさん
廊下歩行をがんばりました



西崎ますみさん
歩行をがんばりました



三原英二郎さん
毎日健康に過ごすことができました



山下 侑大さん
公園歩行をがんばりました

リハビリ運動の 試行錯誤をとおして

理学療法士 堀川 太

南海寮とご縁ができ、個別的に、またグループ的にリハビリ運動面のお手伝いをさせて頂き早2年が経ちました。確たるものではなく、試行錯誤の連続ではありますが、今私がグループ運動として意識している事は、身体を動かすことが楽しい時間となり、また心安まる時間となること、そして職員も利用者も共に楽しめる遊びを伴った運動が何か提案できないかという事です。多彩な表現が期待できる踊り、スキんシップも目的のペア体操やペアマッサージ、そり遊びやバケツ太鼓遊びなど提案させて頂きましたが、月に一回の機会をできるだけ日々の生活にいかせるような取り組みに繋げていけたらと思っています。また、3Sと言われる「すばらしい、すてき、すごい」の3つの言葉は、誰でも言われるとやる気スイッチが入るそうです。これは利用者、職員、子どもからお年寄り問わずと思えます。そんな3Sを声掛けられるような活動、動作、運動を今後も見つけていけたらと思っています。



通所センターだより



今年もやってます。晩柑の皮むき作業！佐伊津町にある京マロンさんからの依頼で3月中旬より始めました。今年で4年目くらいでしょうか。皆さんこの作業を待ちわびているので、毎日張り切って取り組まれています。この作業では皮を破かずに、いかに大きく綺麗に剥くかが大切で、

- ①ヘタを切り落とす。
- ②十字に包丁などで切り目を入れる。
- ③皮を破かずに剥く。
- ④皮を大小に選別する。

の工程があります。

綺麗に四等分に剥けると皆さん嬉しいようで、互いに誉めあわれ逆に破いてしまうと、「あっ！」と失敗を悔やむ声が聞かれています。晩柑の実はというと、商品にはされないという事で、休憩時に間食で頂いています。最初は酸っぱかったのですが、近頃はとっても甘く、皆さんに大好評です。

この作業は季節物の作業で、4月中で一度終わり、夏前からまた始まる予定です。短期間ですが、その時間を十分満足出来るように爽やかな香りの中、バリバリ剥いて稼ごうと思います。(笑)

大仁田美穂

職員研修会等参加報告

- | | |
|----------------------------|-------|
| ■ スーパーバイザー研修 (2月9・10日) | 松下加 |
| ■ 人権同和フォローアップ研修 (2月10日) | 倉田 |
| ■ 県知施協職員家族合同研修 (2月12日) | 入船他4名 |
| ■ 会計実務研修 (2月22日) | 佐藤 |
| ■ OJT研修 (2月22・23日) | 井上 |
| ■ 第三者委員研修 (2月25日) | 大仁田 |
| ■ 発達障がい者フォローアップ研修 (3月5日) | 大中・石原 |
| ■ 労務管理研修 (3月16日) | 中嶋 |
| ■ 災害時こころのケア研修 (3月16日) | 中野 |
| ■ 強度行動障害支援者養成研修 (3月24・25日) | 松下加 |

今後の予定

- 5月26日 開所記念食事会
- 5月27日 東向寺保育園訪問
- 6月8日 衣類購入 (ひらやま衣料品店)
- 6月16日 ボウリング大会
- 日程未定 藍愛ピック (天草地区施設スポーツ大会)

編集後記

この度の熊本地震において被災された方々へ謹んで御見舞い申し上げます。避難されておられる方々への全国各地からの支援物資の提供は毎日の様にテレビ等で放映されています。日本人の心遣い、親切さは世界に誇れる事であると感じています。少しでも早い復興を願います。

さて、新年度より福祉業界のみならず、社会全体において合理的配慮を念頭に、障害者や高齢者が他の人々と等しく生きる社会・福祉環境の整備・実現を目指す障がい者差別解消法が施行されています。私たち職員一同も利用者の方のQOLの向上を目指し支援していきたく思います。今年度もよろしくお祈りします。 Usume.0

訃報・お悔み御礼

故・松浦 政一 (享年91歳)



南海寮設立当時 ▶

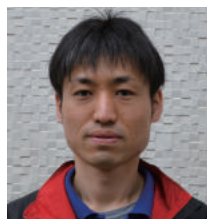


前理事長(初代施設長)の松浦政一氏が3月18日逝去。ご芳志・ご厚情を頂いた関係各位の皆様方に厚く御礼申し上げます。

1月末、天草地方を襲った大雪。水道管の凍結や物資流通の停止もありましたが、利用者の方にできる限り不便をかける事がないよう、何時間かかけて悪路を徒歩で通勤した職員、翌日の出勤に備え何日も帰宅せずに施設に宿泊した職員…全員の協力があって何とかこの災害危機を乗り切る事ができました。



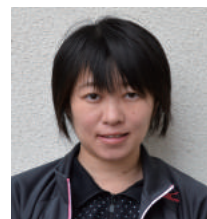
新任職員紹介 よろしくおねがいします！



田尻 真起仁
(支援員)



瀬崎 遼
(支援員)



松本 昌子
(支援員)

退職職員 / 江上裕士 支援員 (H. 28年2月末退職) ・ 白濱真子 支援員 (H. 28年2月末退職)